

8:48 ユダヤ人たちはイエスに答えて言った。「あなたはサマリア人で悪霊につかれている、と私たちが言うのも当然ではないか。」

8:49 イエスは答えられた。「わたしは悪霊につかれてはいません。むしろ、わたしの父を敬っているのに、あなたがたはわたしを卑しめています。」

8:50 わたしは自分の栄光を求めません。それを求め、さばきをなさる方がおられます。

8:51 まことに、まことに、あなたがたに言います。だれでもわたしのことばを守るなら、その人はいつまでも決して死を見ることがありません。」

8:52 ユダヤ人たちはイエスに言った。「あなたが悪霊につかれていることが、今分かった。アブラハムは死に、預言者たちも死んだ。それなのにあなたは、『だれでもわたしのことばを守るなら、その人はいつまでも決して死を味わうことがない』と言う。」

8:53 あなたは、私たちの父アブラハムよりも偉大なのか。アブラハムは死んだ。預言者たちも死んだ。あなたは、自分を何者だと言うのか。」

8:54 イエスは答えられた。「わたしがもし自分自身に栄光を帰するなら、わたしの栄光は空しい。わたしに栄光を与える方は、わたしの父です。この方を、あなたがたは『私たちの神である』と言っています。」

8:55 あなたがたはこの方を知らないが、わたしは知っています。もしわたしがこの方を知らないと言うなら、わたしもあなたがたと同様に偽り者となるでしょう。しかし、わたしはこの方を知っていて、そのみことばを守っ

ています。

8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

8:57 そこで、ユダヤ人たちはイエスに向かって言った。「あなたはまだ五十歳になっていないのに、アブラハムを見たのか。」

8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある』なのです。」

8:59 すると彼らは、イエスに投げつけようと石を取った。しかし、イエスは身を隠して、宮から出て行かれた。

昨日の箇所 41 節には、「淫らな行いによって生まれたものではありません。」とありますが、これはイエス様へのあてつけで、マリアが結婚の前にイエス様を生んだからです。それは聖霊によるのであり、マリアが石打ちにならなかったことからすると、常識を超えたの出来事であったことがわかります。しかし、それを彼らが非難してのことでした。

ここでは、一度はイエス様を信じようかという気持ちになった人々も、多くがイエス様を理解できないでいることがわかります。そしてだんだんと心が離れてゆき、最後には「イエスに投げつけようとして石を取った」ことまでしたのです。これは石打ちで殺すことにもなるものです。

このようにどんなに信仰があるように見えても、もしも、イエス様が神であること、イエス様の救いというものを、受け入れていないなら、「悪魔から出た者」のままなのです。

明確な救いを体験しましょう。また教会に来ていても救いが明確でない人のために、祈り愛して導きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

